

総合的な学習の時間の実践

函館市

異学年合同で、校区を調べつくす

総合的な学習
3～6年

やよい探検隊

単元の概要 と 単元構成

歴史的な建造物に囲まれている校区（弥生地区）の特徴を生かし、それらを調査・研究する活動を通して、問題を解決する資質や能力を育てるとともに、異学年合同のグループ学習の中で学年間の交流を図り、豊かな人間関係を形成することをねらいとしています。

学習活動の流れ（20 時間）

オリエンテーション（2）

- ・学習の流れの説明を聞く
- ・グループを作る
- ・ゲストティーチャーのお話を聞く

一次探検と計画作り（3）

- ・グループごとに地域探検（一次）をし、調べるスポットを決める

調査・まとめ（10）

- ・決めたスポットをグループで探検し（二次探検）詳しく調べる
- ・調べたことをまとめる

（発表用の展示物及びパンフレット）

発表をする（3）

- ・元町公園で発表をする

振り返りをする（2）

- ・活動全体を振り返る

「函館西部地区の魅力」を聞いて自分たちが住む故郷函館西部地区の魅力を再発見しました。

たくさんのお客さん（観光客・地域住民・保護者）が聞いてくれるので、発表にも力が入ります。

歴史的建造物が多くある函館市西部地区。最も観光客が集まる元町公園で、観光客や地域・保護者を対象にした発表会を行います。手作りの観光パンフレットを手渡すことで、子どもたちの感動は最高潮に達します。



元町で発表

教材・活動の Point!



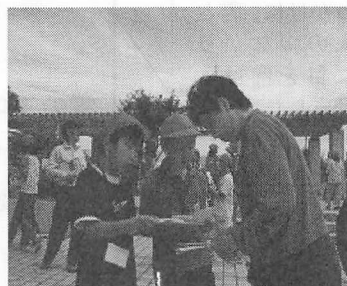
1. 西部地区の魅力をゲストティーチャーから

学習の初め、函館の西部地区に魅せられて、観光人力車を立ち上げたという、京都の「えびす屋」さんを招いて、函館の魅力について話していただきました。故郷のよさを再発見するとともに、学習への意欲が高まります。

2. 5・6年生がリーダーシップを発揮！

単学級のため、人間関係が固定しがちです。

そこで、異学年で活動することにより、高学年がリーダーシップを発揮し、役割を分担し指導する場面が多く見られるようになりました。また低学年が高学年の姿を見て手本にするなど、豊かな学びと人間関係形成の機会になりました。



3. 自信をもって発表！観光客もにっこり！

函館西部地区には、国内だけでなく海外からの観光客もたくさん来ます。子どもたちの元気な発表を聞いたり、手作りのパンフレットを配布されたりすると、笑顔で「ありがとう。」と言ってくれます。それが、子どもたちの成就感につながります。丁寧なお礼と励ましの手紙が来ることもありました。